

誕生の記念樹を手渡しました



5月16日、市役所第二庁舎で、記念樹を配付しました。子どもが生まれた家庭や住宅を新築した家庭にハナミズキ、モクレン、ミカン、ユズなどたくさん種類の苗木の中から、希望のものを選んでもらいました。

誰にも、記念樹や思い出の木があると思います。入学、

こんにちは!!
市長です

Vol.43

「記念樹」

卒業、成人など人生の節目に記念樹を植えたことのある人は多いのではないのでしょうか。私の家にも、今から70年以上前、母親が嫁いだ時に実家から持ってきたという「シャクヤク」があります。小低木ですが、毎年5月にピンク色の見事な花を咲かせます。コロナ禍で気のふさぐ日々が続いています。新緑の芽吹きや色とりどりの花を見ると心が癒やされます。

昨年5月、第74回の県植樹祭が、市赤城総合運動自然公園で開催される予定でしたが、コロナの感染拡大で延期になりました。

合併後では、平成24年に市総合公園で開催されて以来、2度目となります。森林に対する愛情を培う目的の植樹祭ですが、近年では、地球温暖化対策や脱炭素社会実現に向けて、その役割が重要になっています。

渋川市は、面積の約54%が森林です。私たちの生活を守り、豊かにしてくれる森林の大切さをこの機会に再認識したいものです。

延期となつている渋川市の県植樹祭は、今年の秋に開催される予定です。コロナが収束に向かい、無事開催できるように、心から祈っています。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎3215)

美術の小窓



《蝶》

桑原巨守作
1990年
高さ:84cm
素材:ブロンズ

春から夏にかけてひらひらと舞う蝶と戯れているのか、それとも自身が蝶のようになりたいのか……。市街地の新町五差路から南に少し行ったところに設置されています。

●イベントカレンダー

会場	展示内容	期日	観覧料
常設展示室	常設展・前期 桑原巨守彫刻作品	～8月1日(日)まで	200円
市民 ギャラリー	第19回 渋川市民美術展	6月4日(金)～ 20日(日)	無料

■開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
※観覧料は、65歳以上・中学生以下は無料

●6月の休館日 1日(火)、8日(火)、15日(火)、22日(火)、29日(火)

古代の土器には、ときどき漢字が記されていることがあります。土器を焼く前に、釘などの先のとがったもので文字を刻んだ刻書土器。土器を焼いた後で墨と筆で書いた墨書土器。

書かれる文字はさまざまですが、一文字や二文字だけというのが大半です。地名や人名・役職等は、土器の所有者や所有する施設などを指すことが多く、縁起の良い漢字は村や家のまつりや儀礼と関係すると考えられます。

渋川市内でも多くの墨書・刻書土器が見つかっています。八木原沖田遺跡では「若舎」と書かれた墨書土器があり、王宮に仕えた「舎人」という役職と関係がありそうです。右原久保貝道北遺跡では、「上毛」と刻まれた刻書土器の壺が発見されました。上野の中核的な氏族である「上毛野氏」の一族が住んでいたのかも知れません。



八木原沖田遺跡出土の墨書土器

古を訪ねて 39 土器に残された文字